

これまで人は、
石油に頼りすぎたのかもしれない。



環境技術③「石油にまったく頼らないタイヤ」

「タイヤから地球を変える、なんて夢物語でしょうか。」
その技術者は、少し照れながら語った。彼が取り組んでいるのは、石油外天然資源比率100%タイヤの開発。
現在のタイヤの材料の約60%弱*を占める石油系原材料を全く使用しないことで、エネルギー問題や地球温暖化など、さまざまな環境問題への効果を期待できる。
しかしそれは、石油から合成されたゴムによって進化してきたタイヤの歴史を、一からつくり直すような難題でもあった。
2013年の完成に向けて、技術の限界と格闘し、苦悩する毎日なのだという。
「それでも、環境問題は待ってはくれませんか。」
刻々と進行する問題に、ブレーキをかけるために。彼の目は、しっかりとタイヤの未来を見据えている。



低燃費ゴム開発のための「ナノシミュレーション解析」

写真は、タイヤラベリング制度に適合した
ダンロップの「低燃費タイヤ」エナセーブ97です。



for you, for the earth

あなたのために、地球のために。